

新見農業普及指導センター

長期間の高温と少雨に関する気象情報について

6月中旬からかなり高い気温が続くとともに、梅雨明け以降、降水量が少ない状態が続いています。広島地方気象台の発表（7月25日）によると、気温の高い状態は今後もさらに1か月程度、降水量の少ない状態は今後10日間程度続く見込みとなっています。

今後、高温や乾燥による各作物の生育障害、害虫の多発等が考えられ、特に、水稻では登熟期間の高温による白未熟粒の発生、大豆では着莢・子実肥大の不良、果樹では果実肥大の不良、野菜の果菜類では落花や品質低下の発生等が予想されます。このため、今後の最新の気象情報に御留意いただき、令和7年7月16日付け緊急情報No. 1及び緊急情報No. 2を参考に適切な対応をお願いします。

また、暑熱環境下での農作業は、熱中症（熱射病、熱けいれん、熱まひ）を発症しやすいので、気温の高い時間帯を避け、休憩や水分をこまめにとる等、労働衛生面においても十分注意しての作業をお願いします。

長期間の高温と少雨に関する中国地方気象情報 第2号（令和7年7月25日11時48分 広島地方気象台発表）

鳥取県、島根県、岡山県及び広島県では、6月中旬から暖かい空気に覆われやすく、気温のかなり高い状態が続いています。7月上旬の旬平均気温の平年差は中国地方で+4.2度、山陰で+4.0度、山陽で+4.5度となり、1946年の統計開始以降、7月上旬として最も高く、記録的な高温となりました。また、梅雨明け以降、前線や湿った空気の影響を受けにくく、降水量の少ない状態が続いています。7月上旬の旬降水量の平年比は山陰で0%、山陽で1%となり、山陰では、1946年の統計開始以降、7月上旬としては1位タイの記録的な少雨となりました。

今後さらに1か月程度は暖かい空気に覆われやすく、8月にかけて気温の高い状態が続く見込みです。また、今後10日間程度は雨の降る日もありますが、これまでの少雨を解消するような、まとまった雨が降る可能性は小さい見込みです。

農作物や家畜、水の管理、熱中症対策などの健康管理に十分注意してください

平均気温（6月10日から7月24日まで）（速報値）

	平均気温（度）	平年差（度）
岡山	28.1	+3.1
津山	26.6	+3.0

降水量（6月25日から7月24日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年比（%）
岡山	61.0	31
津山	39.0	15